

教育目標 「豊かな心で 主体的に学び合う たくましい子の育成」
～ 児童・教職員一人一人が輝く学校づくり ～



【めざそう！大杉】

【越前市教育振興ビジョン】

人間力を高める教育の充実

校訓

「自律」
「自主創造」

めざす児童像

- (お) 岡本を愛する子
- (お) おもいやりのある子
- (す) 進んで活動する子
- (ぎ) 礼儀正しい子

研究主題 一人一人の輝きと確かな学びのある学校の創造

重点目標

I 確かな学力

- ◎「学び」を楽しむ授業の実践
- 基礎・基本となる学力の定着
- 主体的に学びを活用する力の育成
- 本が好きになる読書活動の充実

II 豊かな心

- ◎ともに学ぶ心をもった集団づくり
- 自己肯定感・自己有用感を高める
- 挨拶・優しい話し方・感謝の浸透

III たくましい体と命

- ◎健康教育・食育の充実
- 体力の向上
- 主体性を伸ばす安全教育の推進

IV 開かれた学校

- ◎ふるさと教育の充実
- ふるさとの探究活動と発信
- 地域との連携推進

具 体 的 な 取 組	①家庭学習習慣の定着、AIドリルの活用、読む力と計算力を高めるスキルタイムの実施などを通じて、基礎・基本となる学力の定着を図る。 ②デジタル学習基盤を効果的に使った「深い学び」を目指した授業づくりを目指し、県教委の支援事業を活用して研修を実施し、教員の指導技術の向上を図りとともに、確かな学力の定着を目指す。 ③授業において、児童が主体的に取り組んだり、自己決定する場面を意図的に設定する。 ④読み聞かせの充実と図書支援員・家庭と連携した読書活動の推進を図る。	①児童と教職員が、自分からする挨拶や優しい話し方（適切な話し方）、感謝の気持ちを伝える良さが実感できる体験を通して互いを認め合う心の育成に努める。 ②いじめ・不登校の未然防止・早期発見に努め、児童の「居場所づくり」「絆づくり」に努めるとともに、チーム学校としていじめ・不登校に対応する組織づくりを行う。 ③自己肯定感や自己有用感を育てるため、縦割り班活動、ポジティブ教育等の効果的活用を図る。 ④中・高学年で教科担任制を導入し、関係性のある教員を増やすことで、安心につなげる。 ⑤委員会・行事・クラブ等で児童が主体的に取り組み、計画・実行する場面を意図的に設定する。	①望ましい生活習慣の育成（睡眠やバランスのよい食習慣、メディアコントロール）を図り、心身ともに健やかな児童を育てる。 ②運動の楽しさの実感や体力向上のために体育の授業や体育的行事の内容を工夫し、児童が主体的に目標を持って取り組み、粘り強く目標を達成しようとする意欲の向上を図る。 ③災害や交通安全、SNSの利用に対する児童の危機管理能力を育成し、児童自身が自分の安全を守る知識や技能を高める。	①五箇地区の伝統産業である越前和紙や月尾谷地区の豊かな自然を活用して、主体的にふるさとに学ぶ探究学習を推進する。 ②学年便り・HP・H&S・PTAや地域の広報誌等で学校の状況について情報発信し、家庭や地域との協力関係をつくる。 ③保・幼・小連絡会や小・中連絡会、家庭・地域・学校協議会、地域の各種団体等との連携を図り、特色ある学校づくりを推進する。
	①主体的に学びをいかす授業に取り組んでいる（教100%） ②授業がわかる、身に付いている（児保90%以上） ③デジタル学習基盤を活用し、わかる楽しい授業づくりをしている（教100%） ④本を読むことが好き（児保80%以上）	①学校に来るのが楽しい（児保90%以上） ②一人一人の良さを認め伸ばす教育を行っている（教100%） ③自分から挨拶ができていく（児保85%以上） ④優しい話し方ができている。（児保80%以上） ⑤自分のよいところが言える（児保80%以上）	①早寝早起きをしている（児保80%以上） ②一日にメディアを見る時間2時間まで（児80%以上） ③運動をするのが楽しい（児保80%以上） ④学校は児童の安全を守る取り組みをしている（保90%以上）	①学校は保護者や地域との連携を大事にして取り組みを行っている（保90%以上） ②便りやHP・H&Sで学校の様子がわかる（保90%以上）

業務改善のための取組

- ・ 超過勤務時間が月45時間以内となるための計画的な働き方
- ・ 行事のスリム化と配置の工夫
- ・ ICTを活用した情報伝達や事務処理等の迅速化
- ・ 会議の時間短縮、ペーパーレス化